

いのちを後回しにしない政治を今、沖縄から。

みおのクロトン便り

第4号 2015年9月10日

仲村 未央
沖縄県議会議員

幸せを呼ぶというクロトンのように 多様に 多彩に しなやかに



土砂搬出反対の運動広がる

「辺野古土砂搬出反対全国協議会」の阿部悦子共同代表が来県した。ラスト運動で瀬戸内周辺24カ所のゴルフ場建設を阻止した実績のある環境運動家で、愛媛初の女性県議でもあった。2日は一緒に船で大浦湾に出て、辺野古ゲート前の座り込み現場へ＝写真上。翌3日は安慶田光男副知事と面談し＝写真下、那覇市で活動報告会を持った。



報告会では、土砂搬出予定地とされる瀬戸内海、門司(福岡)、天草(熊本)、五島(長崎)、奄美大島を訪ねたこと、国策によって犠牲を強いられ分断さ

れるのはいつも、声をあげにくい小さな集落であること、沖縄県民の意思に反して基地建設を強行する政府のやり方には断じて加担しまいと確認あったことが伝えられた。

メディアの関心も高く、「故郷の土砂を一粒たりとも戦争につかわせない」との訴えが報じられた。「これ以上、加害者にはなりたくない」と阿部さん。沖縄戦のこと、戦後、復帰後も続く米軍基地のありように胸を痛めていた。土砂搬出地として不意に名があがり、「喜ばしい話ではなかったが、沖縄の皆さんを応援するだけではなく主体的に関われるつながりができた」とみなぎる決意を話してくれた。

「集中協議」終了、決裂。

さあ、いよいよ、埋立承認「取消し」の判断が来る。誇りある選択へ、必ず辺野古新基地建設阻止を達成しよう。ひろがる連帯に応え、未来を拓く県民の力、屈しない希望の力を示すときだ。

写真集

◆阿部悦子さんと辺野古へ(右から2人目)、そして県庁へ＝写真上段2枚。



◆大浦湾では県の潜水調査が進められていました。そのようすを防衛施設局が監視＝写真下段2枚。



憲法、自治、米軍基地問題、こどもの貧困、労働者の権利などのテーマで講演や勉強会も行っています。ご意見、お問合せがありましたら、どうぞご連絡ください。

電話：098-989-1638(みお事務所)、098-866-2702(沖縄県議会会派室)

Eメール：go@miomio.ne.jp

住所：〒904-0011 沖縄市照屋1-7-19(なかむらみお後援会事務所)

